

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

エンタープライズOSSエコシステム発展のために、ユーザー期待とベンダー現実のギャップを解消し全力を尽くす

② 中長期の経営戦略

1. KUSANAGI Stack展開

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」、Web表示高速化エンジン「WE XAL® Page Speed Technology®」、戦略AI「ONIMARU® David」で顧客課題解決

2. 組織体制の最適化

KUSANAGI事業部、ライセンス事業部、AI事業部に分割し事業別損益を明確化。GMOグループとのシナジー強化

3. GMOグループシナジー創出

KUSANAGI技術グループ横断展開、AI・ハイパーオートメーション全体展開、エンタープライズ領域法人向けソリューション強化

③ 対処すべき課題

① グループシナジーの創出

- ・ KUSANAGI技術のグループ横断展開
- ・ AI・ハイパーオートメーション全体展開
- ・ エンタープライズ領域ソリューション強化

② 優秀人材の確保と育成

- ・ AI技術者など専門性高い人材獲得
- ・ 営業力強化推進人材の採用
- ・ マーケティングレベル向上人材の採用

③ 既存事業と新規事業の成長

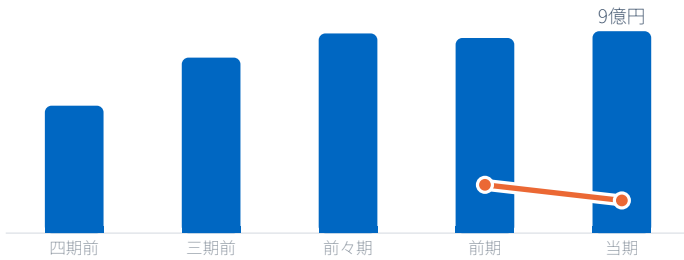
- ・ KUSANAGI Stack事業の安定成長
- ・ マネージドサービス・ライセンスビジネス拡大
- ・ MAGATAMA Stackを基軸としたAI関連ビジネス売上拡大

面接で使えるポイント

- ・ 2025年12月26日GMOインターネットグループへグループジョイン。両社技術基盤を掛け合わせ日本企業DX推進に貢献
- ・ KUSANAGI Stack（超高速CMS実行環境・Web高速化・戦略AI）で顧客のサーバーダウン・表示速度低下を回避実…
- ・ AI技術者・営業・マーケティング人材採用を強化。エンタープライズOSSエコシステム発展を目指す事業成長

証券コード 5250

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報通信・サービス業に属する上場企業

主力事業・セグメント

- ・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率16.2%と高い収益性
- ・ 財務健康度84点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
9億円営業利益率
16.2%財務健康度
84点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 53.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
765万円

情報・通信業内 129位/592社

平均年齢
47.4歳

情報・通信業内 31位/593社

平均勤続
5.2年

情報・通信業内 361位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

